

この秋は 瀬戸内国際芸術祭 2022 in 栗島へ!

会期 | 9月29日(木)~11月6日(日)

in 栗島へ!

島民、芸術家、ボランティアの皆さんで作りに上げた、この秋だけの特別な「アートの島・栗島」へぜひお出かけください。

わたしはスナメリ。運がよければ会えるかも

栗島マップ



須田港周辺MAP



- レンタサイクル受付所(無人) 1日500円 ※予約不可
 - i1 栗島案内所(栗島開発総合センター) [9:00~16:30] ※車いす有 ☎090-1001-7628
 - i2 須田港案内所(須田港乗船口付近) [8:30~12:50] ☎090-4979-3632
 - 診1 島の救護室(栗島開発総合センター) [9:30~16:30] ☎090-4979-3632
 - 診2 栗島診療所(平日のみ) [8:30~12:00 / 13:30~17:00] ☎84-7009
- 🍴 食事場 ️ トイレ 🌙 宿泊施設 🗑️ 自動販売機

1 日比野克彦 **リニューアル**
瀬戸内海底探査船 美術館プロジェクト 「ソコソコ想像所」 「昨日丸」 「Reininga」
2010年にスタートした、瀬戸内海周辺の海底遺物を探索し展示するプロジェクト。

2 日比野克彦 **リニューアル**
種は船 TARA JAMBIO アートプロジェクト ※詳しくは4ページの「イベント」へ

3 TARA
「TARA」
船員、科学者、アーティストなどで世界中を航海する科学探査船タラの号の活動記録や作品展。

4 NEW!
佐藤悠、森ナナ **栗島芸術家村**
作家と島民が4カ月間共同制作した作品を展示。 料 6000円

▲すすを採取している森さん

5 エステル・ストッカー
思考の輪郭
旧栗島幼稚園に未来的な空間が広がる。 料 3000円

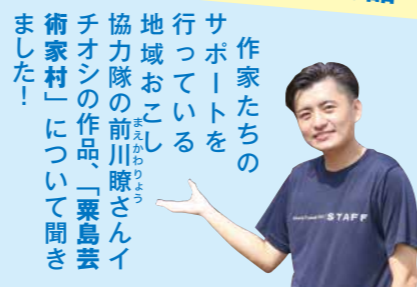
6 ムニール・ファトゥミ
過ぎ去った子供達の歌
廃校となった小学校へ、巣立っていった子どもたちを表現。 料 3000円

7 山田紗子
須田港待合所プロジェクト
「みなとのロープハウス」 **リニューアル**

8 マッシモ・バルトリーニ
ステイルライフ
池に浮かぶ静物。蓮の花瓶が意味するものは? **NEW!**

9 アデル・アブデスメッド
「い・ま・の・こ・ろ」
緊張感のある映像作品「足で漬す」シリーズの最新作。 料 3000円 **NEW!**

教えて! イチオシ作品



僕たち、私たちが描きました!

栗島芸術家村滞在作家の佐藤悠さんが、小学生親子を対象にしたワークショップを開催しました。集まった子どもたちは実際に栗島の海や山を観察し、感じたままに筆を入れ、楽しんでいました。
一枚の大きな絵地図には、島民やボランティアの皆さん、観光客などたくさんの方が関わっており、季節感や一日の時間帯など、それぞれの感覚で描き分けられたさまざまな色合いを楽しむことができます。



▲広報7月号特集でも、栗島芸術家村事業についてインタビューしています。ぜひご覧ください。

瀬戸芸2022 in 栗島へ向けて



▲東京藝術大学 学長 芸術家 日比野克彦さん

ソコソコ想像所が栗島海洋記念館から栗島芸術家村(旧栗島中学校)に引っ越ししました。海洋記念館が老朽化に伴い今年使用が出来ないため、タラの展示も旧栗島中学校に移動しました。また、「種は船」の展示の一部も旧栗島中学校のグラウンドに新たに設置します。そのため、今年の栗島芸術家村は作品密度が前回の倍になっています!
またTANEFUNEは、春会期は小豆島、夏会期は豊島で展開してきました。そして秋は栗島!と、瀬戸芸初の3つの島を渡ってきた作品になります。ぜひお楽しみに!

SETOUCHI TRIENNALE 2022

アートイベントに参加

もっと芸術が楽しくなる！



A 日比野克彦作品に乗船

日比野さんの作品「昨日丸」「TANe FUNe」に乗船し、穏やかな瀬戸内海を味わいながら、海からの視点で物事を考える。
場所 栗島海洋記念館前桟橋

「昨日丸」運行イベント

日時 会期中の土・日・祝
①午前11時30分〜正午
②午後1時15分〜1時45分
③午後3時〜3時30分
料金 1,000円
定員 20人



▲TANeFUNe



▲昨日丸

「種は船」ART PROJECT

日時 毎日随時運行
料金 無料
定員 4人

B 栗島子どもガイド

栗島について、市内の小学生が見どころや歴史を案内してくれるガイドツアー。
日時 会期中の土・日・祝
中心部コース…午前10時〜11時
西浜コース…午後2時30分〜4時



場所 栗島郵便局前
料金 500円(漂流郵便局 入場料・お土産含む)
中学生以下200円
8人程度



▲まちづくり推進隊 栗島郵便局ホームページ

C 漂流郵便局

2013年の瀬戸芸で生まれ、人気観光スポットとなった漂流郵便局が臨時開局。
日時 会期中の土・日・祝
午前10時〜
午後4時30分

料金 高校生以上300円



問い合わせ

A 産業政策課 ☎73・3012
B C まちづくり推進隊 栗島 ☎83・3639

グルメ情報

芸術と一緒に味わおう！

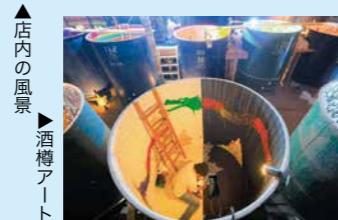
I 三豊鶴

「酒蔵 Art Restaurant 2022」

須田港から徒歩1分の旧酒蔵をリノベーションしてきた「三豊鶴」では、11月6日までイベント「酒蔵 Art Restaurant」を開催中。アート作品225点展示され、8人のシェフが週替わりで腕を振るう。ランチ・ディナーは要予約。瀬戸芸と合わせて立ち寄ってほしいスポット。
営業日 会期中の金・土・日・祝
午前10時30分〜午後10時
場所 詫間町詫間5437
問い合わせ ☎090・4506・5663(要予約)
(水〜日 午前11時〜午後3時)



▲予約はこちらから



▲店内の風景 ▶酒樽アート

II ル・ポール栗島

ランチは地元産の食材を使ったさまざまな料理を提供。栗島の土産物も販売。
営業日 毎日(無休)
午前11時〜午後2時

場所 詫間町栗島

問い合わせ ☎141812
☎84・7878



III あわろは食堂

漁師のオーナーが捕る新鮮な海の食材とこだわりの料理が味わえる。写真映えするパフエも大人気。
営業日 金・土・日・祝 午前11時〜午後5時
(パフエは、金・土 午後5時〜9時)
場所 詫間町栗島1619
問い合わせ ☎090・3181・8360



▲あわろはパフエ

IV いせやさんのドライカレー

かつて海上コックをしていた山北光夫さんが手掛ける特製ドライカレー。
営業日 会期中の土・日・祝
午前10時〜午後3時
場所 詫間町栗島861110
問い合わせ ☎090・1578・8487



▲名物ドライカレー

V 武内商店

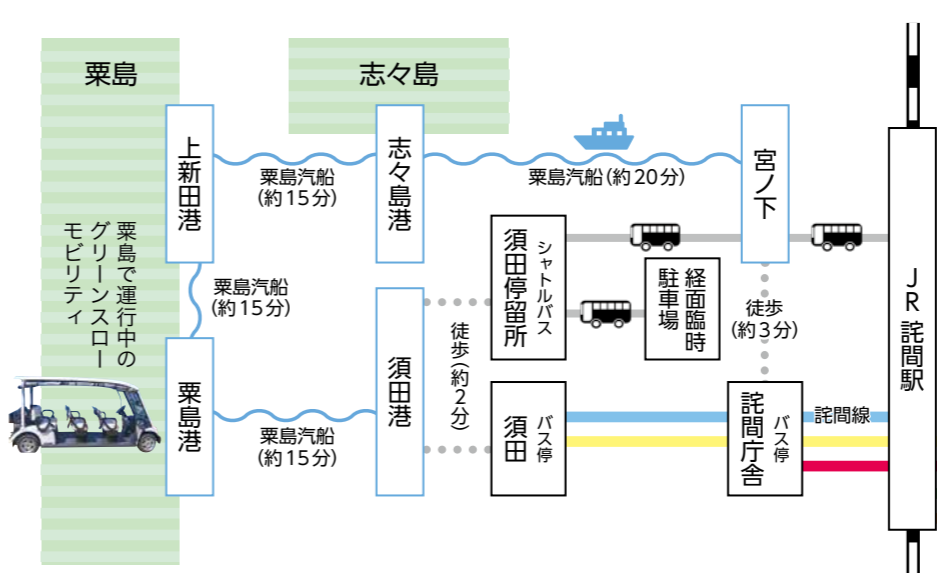
島唯一の商店で、島のコンビニ的存在。店の前には縁台もあり、散策中のひと休みにもぴったり。
時間 午前7時〜午後6時
場所 詫間町栗島1348
問い合わせ ☎84・7015



粟島へのアクセス情報

スムーズに行くために！

粟島へは須田港から渡ることができません。会期中、須田港への車の乗り入れはできません。経面臨時駐車場やJR詫間駅からシャトルバスで、またはJR詫間駅からコミュニティバスなどでお越しください。



詫間三野線 三野方面から
高瀬仁尾線 高瀬・仁尾方面から
三野線 三野・高瀬方面から
仁尾線 仁尾方面から
コミュニティバス

●シャトルバス(無料)

運行時間 午前8時〜午後6時
JR詫間駅と経面臨時駐車場から須田港まで随時運行。

●粟島汽船時刻表(須田⇄栗島)

料金 片道 大人330円 小人170円

	須田発	栗島着		栗島発	須田着	
1	6:20	6:35		1	6:45	7:00
2	7:25	7:40		2	7:50	8:05
3	9:10	9:25		3	9:35	9:50
4	10:45	11:00		4	11:15	11:30
5	12:40	12:55		5	14:30	14:45
6	15:10	15:25		6	17:15	17:30
7	18:00	18:15		7	18:25	18:40
8	19:05	19:20		8	19:30	19:45

●経面臨時駐車場(無料)



●コミュニティバス (100円) ●グリーンスロー ●モビリティ(無料)

位置情報や時刻などを検索できるバスロケーションシステムをご利用ください。



▲「バス予約」のご利用はこちら



環境に優しい低速電動自動車。島内の移動にご利用ください。

粟島芸術家村を支える人たち

芸術祭スタートまで残り1カ月となった9月上旬、作品の制作活動をサポートしてくれているボランティア「海ほたる隊」や、島民で結成されている「くじら隊」の皆さんに、島の魅力を聞きました。

粟島の魅力？

くじら隊の皆さんに聞きました。

「くじら隊」は50〜80代の島民の皆さんによるボランティア隊で、前回の瀬戸芸の時に発足しました。今は10人程で毎週土曜日の午後集まって活動しています。作家の制作活動を手伝う他、芸術家村の維持管理費のためにお土産のサコッシュを作って販売しています。

粟島の魅力については、皆さん笑いながら、ずっと粟島にいるから分からないと言っていました。ただ、「粟島に遊びに来た人たちは、『また来たい』と言ってくれる。島外にいる孫たちも、『粟島に行きたい』とよく言ってくれる」と嬉しそうに話してくれました。

くじら隊の活動について聞くと、「ここに来たら皆と話して笑えて楽しい」「観光客や島外から来た人たちと交流もできる」と、皆さん自然と笑顔がこぼれていました。



▲作品制作を手伝います



▲芸術家村の洞窟作品「フルリー画」のサコッシュ



▲サコッシュ用の布を切ります



①「くじら隊」の皆さん②粟島芸術家村の管理人佐藤さん③活動中は話し声や笑い声も絶えない④島外からのボランティア「海ほたる隊」の皆さん⑤作品作りを手伝う島民の山北友好さん

粟島芸術家村を当初からサポートしてくれている松田さんに聞きました。



まつだ えつこ 松田悦子さん

をしてきた松田さんに、粟島の良さについて聞きました。

「やっぱり、人だと思える。粟島の人たちは『明るい』『フレンドリー』『年をとっても元気』。粟島にはかつて海員学校もあって、昔から外国に向けて開けた島だったので、外から来た人たちにも抵抗なく接することができるとか、瀬戸内国際芸術祭や粟島芸術家村も、私は島の人が皆で作っていると思う」と、笑顔で心強く話してくれました。



▲粟島海洋記念館(元海員学校)

松田さんにおすすめのスポットを聞くと、たくさん教えてくれました。作品鑑賞と合わせて、粟島にきたらぜひ行ってください！

ブイブイガーデン

#春が見頃 #ブイ
#まるで英国の田舎



城山

222 m #頂上絶景
#瀬戸内海パノラマ



京浜

#美しい砂浜 #穴場
#貨物船がすぐ近くに！



松田さんおすすめ穴場スポット3選



海ほたる隊の竹林さんに聞きました。



たけばやし ちかこ 竹林千鶴さん

海ほたる隊として、作品制作のサポートをしてくれている竹林さんは、前回の瀬戸芸からボランティアで協力してくれています。

今回も参加したいと思えたのは、「粟島の人たちの温かさや距離感」のおかげだと竹林さんは言います。「島の人たちが近い距離で受け入れてくれて、また来たいと思えました。島の人たちや観光客の人たち、みんなが共有できる時間が持てるのはとても楽しいです」

※「海ほたる隊」：島外から来てくれているボランティア隊。会期前の作品制作から会期中の作品受付・案内までを担ってくれています。



さとう てつし 佐藤哲士さん

瀬戸芸が開催される年に限らず、芸術家村を支えて大事に管理してくれている島民の佐藤さん。粟島に来たら行ってほしいスポットは？と聞くと、すぐに「ここ」と芸術家村を答えてくれました。

「粟島の人たちは心が温かい。芸術家村事業についても理解して、手伝ってくれている。粟島芸術家村は皆で作っている芸術」。瀬戸芸に対して、関わる意欲を持っていてくれると伝わりました。

粟島会場の最新情報はこちらから！

公式ホームページ
「瀬戸内国際芸術祭 2022in 粟島」

(市観光交流局ホームページ内)

粟島会場の見どころやモデルコースなどを掲載。



▲観光交流局のホームページはこちら

Facebook「アート粟島」

芸術家の創作活動の様子や進捗状況、粟島会場に関するお得情報など随時更新中。



▲フェイスブック「アート粟島」はこちら